

日本スポーツ協会の 指導者資格制度改定について

2018年4月1日

公益財団法人 日本ハンドボール協会
指導委員会

日本スポーツ史上最大の危機

【スポーツ指導における暴力根絶に向けて（2013年2月5日）】

（要旨抜粋）

日本のスポーツの良さは、チームワークであり、
自他共栄の心です。…

しかし、今般、柔道女子日本代表チームをはじめ、
スポーツ指導において暴力を行使する事案が明るみに出ました。

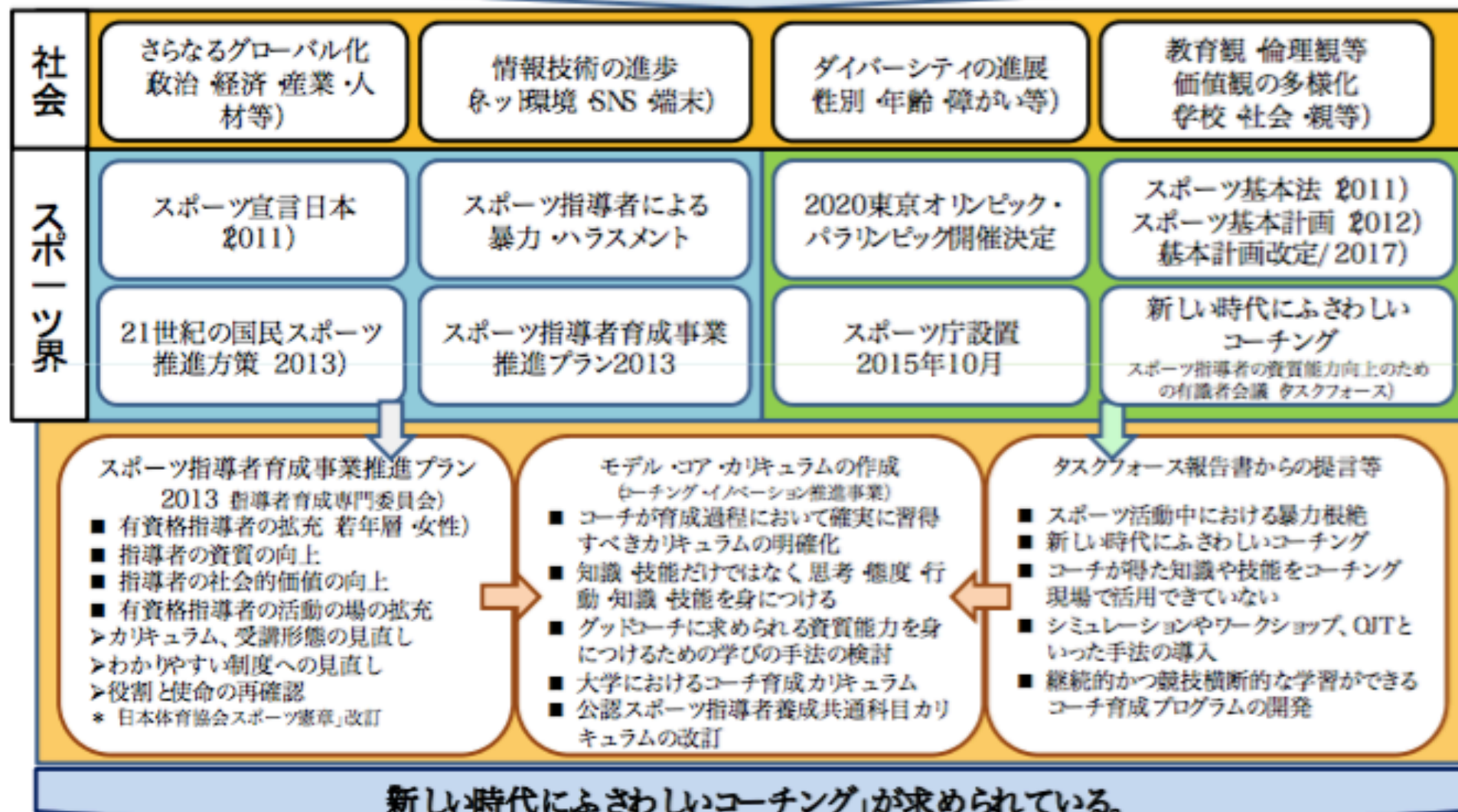


私は、今般の事態を日本のスポーツ史上最大の危機と捉えています。…

私は、こうした問題が選手の立場に立って速やかに解決できるよう「スポーツ指導から暴力を一掃する」という基本原則に立ち戻り、スポーツ界を挙げて取り組む必要があると考えます。…スポーツ指導者が暴力に頼るのではなく、コーチング技術やスポーツ医・科学に立脚して後進をしっかりと指導できる能力を体得していくために、スポーツ指導者の養成・研修の在り方を改善することが大切だと考えます。…このような様々な仕組みをスポーツ界一丸となって早急に整えることで、《新しい時代にふさわしいスポーツの指導法》が確立されるよう、全力を尽くす所存です。…

■日体協の指導者養成を取り巻く状況

2005年の制度改定から10年が経過。社会もスポーツ界も大きく変化している



* 新しい時代にふさわしいコーチング」
競技者やスポーツそのものの未来に責任を負う「社会的な活動」であることを常に意識して行われるもの

(スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議 (タスクフォース) 報告書)

背景

2013(平成25)年 スポーツ指導現場における暴力問題
ナショナルチームにおけるハラスメント問題
「日本のスポーツ史上最大の危機」

新しい時代にふさわしいスポーツの指導法(コーチング)

コーチングに必要な知識・技能を
コーチが十分に習得していない

その結果・・・

- 倫理的に認められない行動
- 不適切なコミュニケーション
- 非合理的なトレーニングによる
競技者やチームのパフォーマンスの低下
- バーンアウトやオーバーユースによる
スポーツ障害

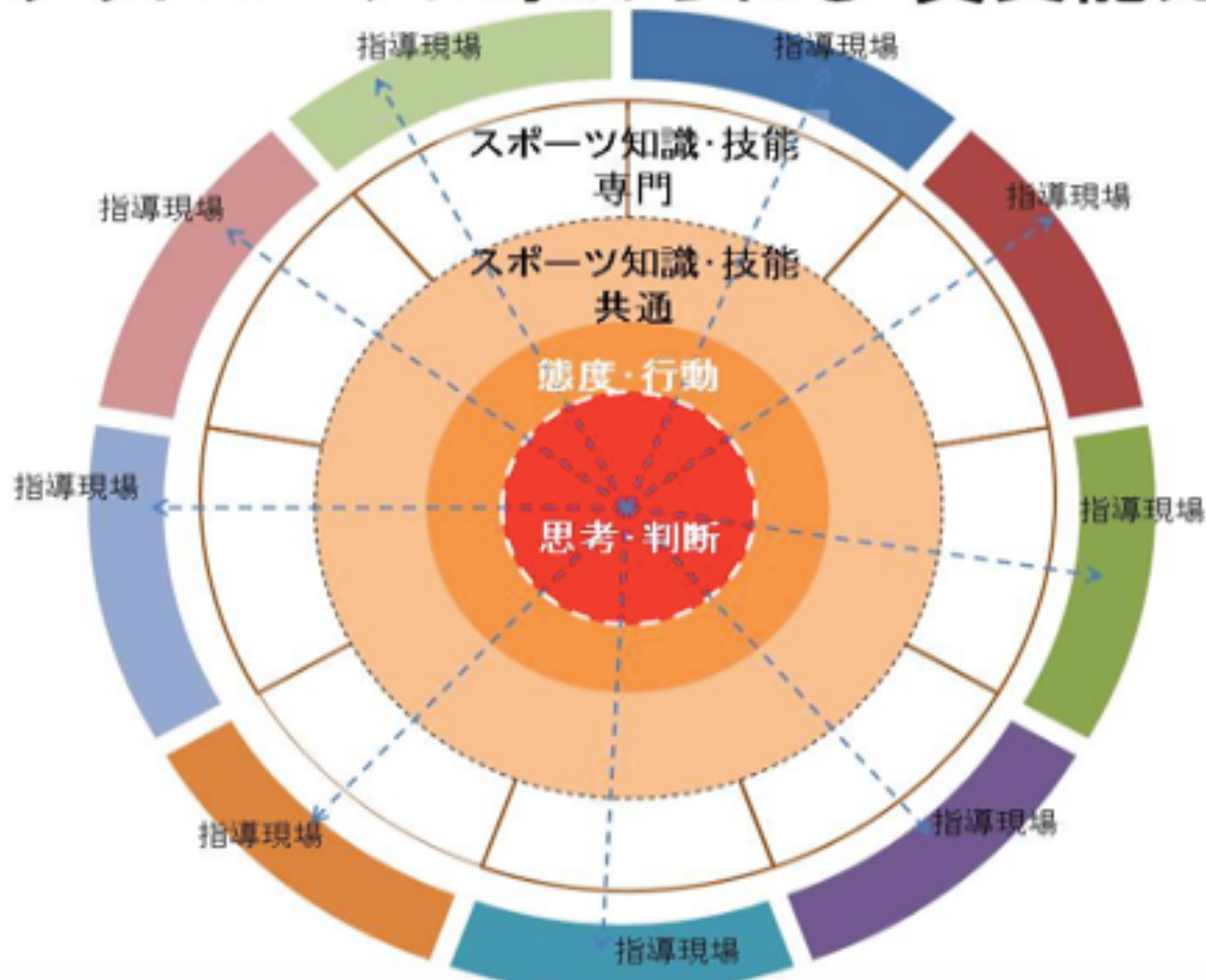
競技横断的な知識・技能が
十分に学ばれていない

例えば・・・

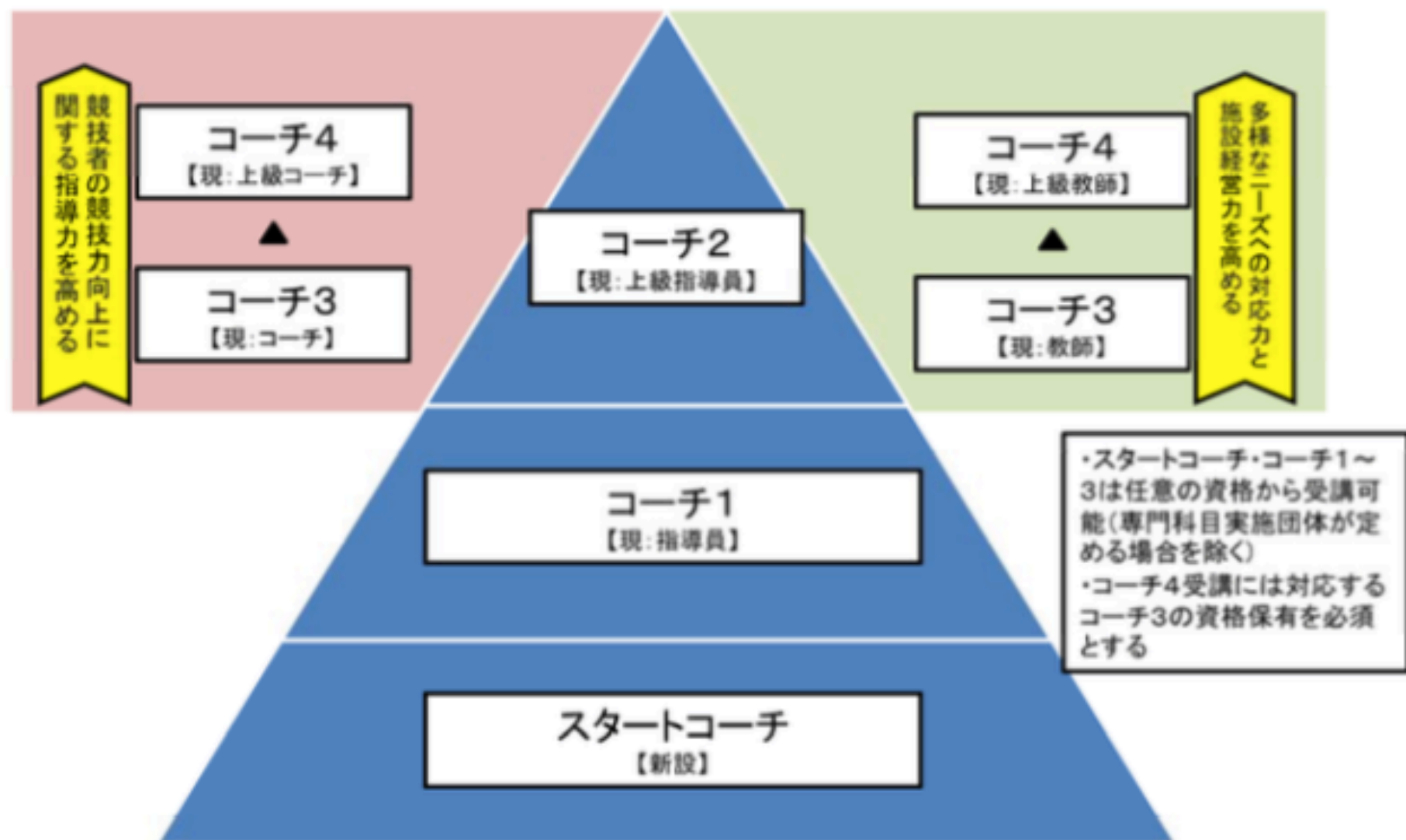
- 哲学や倫理
- 内発的動機付け
- 言語的・非言語的コミュニケーション能力
- リスクマネジメント
- 競技者の長期的なスポーツキャリアを
視野に入れたコーチングの在り方

スポーツを取り巻く環境の変化
(少子高齢化、高度情報化、グローバル化etc)

グッドコーチに求められる「資質能力」



■競技別指導者資格の体系図



- ・スタートコーチ・コーチ1・コーチ2において競技別指導者としての基礎から現場責任者レベルの資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を身に付ける。
- ・コーチ3～4では競技力向上や商業スポーツ施設等におけるコーチング等、コーチングの幅と深みを広げ、掘り下げる。

■カリキュラム時間数

資格区分	スタートコーチ 【新設】	コーチ1 【現：指導員】	コーチ2 【現：上級指導員】	コーチ3 【現：コーチ・教師】	コーチ4 【現：上級コーチ・上級教師】
時間数(カリキュラム)	MCCを踏まえた 日体協独自	MCC基礎	MCC基礎＋ 応用実践	MCC基礎＋ 応用実践＋@	日体協独自
	共通 (スタート コーチ用) 15h 専門 4h 以上	共通 I 45h 専門 20h 以上	共通 II 135h 専門 40h 以上	共通 III 150h 専門 60h 以上	新 共通 IV 時間未定 専門 80h 以上
共通科目講習形態	集合講習会＋自宅学習	事前学習＋集合講習会 ＋検定試験＋事後学習	事前学習＋集合講習会 ＋検定試験＋事後学習	事前学習＋集合講習会 ＋検定試験＋事後学習	事前学習＋集合講習会 ＋検定試験＋事後学習
集合講習日数の目安	1日(7時間以上) 共通科目：3時間 専門科目：4時間以上	4日間 共通科目：2日間 専門科目：2日間	7日間 共通科目：3日間 専門科目：4日間	10日間 共通科目：4日間 専門科目：6日間	5日間以上 共通科目：4日間 専門科目：1日以上

- ・共通科目は「コーチ育成のためのモデル・コア・カリキュラム」(MCC)に基づくカリキュラムとする。
- ・コーチ4の共通科目はJOCナショナルコーチアカデミーとの接続を念頭に置いた日体協独自カリキュラムとする。
- ・時間数については漸増するよう設定するが、コーチ4の専門科目集合講習の日数は、自主的学習を重視する観点から集合の日数を柔軟に設定出来るようカリキュラムを設定する。

■新制度における資格の役割

資格名	役割
スタートコーチ *新設*	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングアシスタント(指導補助) ・上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する
コーチ1 【現・指導員】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフ ・基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する
コーチ2 【現・上級指導員】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督・ヘッドコーチ ・責任者として安全で効果的な活動を保障し、指導計画を構築・実行・評価し監督する ・コーチ間の関わり・成長を支援する
コーチ3 【現・コーチ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック～全国大会レベルの競技者・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングアシスタント(指導補助) ・国民体育大会のコーチングスタッフ(国体参加資格は別に定める)
コーチ4 【現・上級コーチ】	<ul style="list-style-type: none"> ・国際大会レベルの競技者・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングスタッフ ・ナショナルチームのコーチングスタッフ
コーチ3 【現・教師】	<ul style="list-style-type: none"> ・商業スポーツ施設等で幅広い年齢層と多様なスポーツライフスタイルを持つ会員や受講生に応じたコーチングを行う ・クラブや施設の日常運営業務にあたる
コーチ4 【現・上級教師】	<ul style="list-style-type: none"> ・商業スポーツ施設等における実技指導の責任者・チーフ格 ・クラブや施設の企画経營業務にあたる